

第4回 花火大会検証会議

会議録

【日時】令和6年10月29日（火）13:30～16:00

【場所】福知山市総合福祉会館 33・34号室（3階）

【出席者】（委員） 6名（別紙参照）

（事務局）産業政策部 西畑部長

産業観光課 大江課長、田中係長

（関係機関）福知山警察署、福知山消防署

1 開会

2 開会挨拶

会 長：大変お忙しい中、ご参集いただきありがとうございます。本日の会議は次回に繋がる方向性が示されればと思う。本日の協議事項について、委員の皆様から積極的な意見を頂戴できれば幸いです。前回の会議では委員の皆様からの現地検証評価を踏まえて、チェック項目ごとに議論を行った。本日の会議では現地検証結果（案）と実行委員会・福知山市・関係機関への確認事項の回答、実行委員会の事業報告書、経済波及効果及び分析報告を事務局より説明していただく。それらを踏まえて検証会議として花火大会が安心安全に開催できていたのかを評価し、今後の花火大会のあり方について議論していきたいと思う。

3 説明事項

（1）福知山HANABI2024現地検証結果（案）について

事務局：資料1に基づき「福知山HANABI2024現地検証結果（案）について」説明

会 長：説明事項（1）について、委員の方から質問やご意見はあるか。

副会長：各ゲートのその他について、道路規制に関するものが1点だけ良かった点としてあげられてA評価になっているが、ロープによる分断規制の項目と内容的には重なると思うので、ロープによる分断規制の項目に、良かった点として加えるという整理のほうがいいと思う。

会 長：他の委員の方、先程のご意見のような方向でよいか。

委 員：よい。

会 長：次に説明事項（２）実行委員会への確認事項、（３）福知山市への確認事項、（４）関係機関への確認事項について、事務局より一括して説明をお願いする。

（２）実行委員会への確認事項について

事務局：資料２に基づき「実行委員会への確認事項について」説明

会 長：説明を受けて委員の方々からご意見はあるか。

委 員：細かい話にはなるが、説明事項②の車いす観覧者やバリアフリー対策について、階段で入場するゲートはありませんとあるが、ゲート１からゲート３は全てスロープが付いていたという認識でよいか。ゲート４にいたが、階段のみでスロープはなかった。バリアフリー対策がどのようなものであったか確認したい。

事務局：ゲート４については階段のみであった。資料の扱いについては、実行委員会から頂いた回答内容をそのまま記載しているので、内容については再度、事務局から実行委員会に確認を取り、訂正の必要があれば、委員の皆様に事務局を通してお伝えさせていただく。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：ない。

（３）福知山市への確認事項について

事務局：資料３に基づき「福知山市への確認事項について」説明

会 長：説明を受けて委員の方々からご意見はあるか。

委 員：ない。

（４）関係機関への確認事項について

事務局：資料４に基づき「関係機関への確認事項について」説明

警 察：確認事項である、警備員、スタッフの対応などがうまく機能していたかについて回答させていただく。11年ぶりの開催となったが、事故が起きずに花火大会が催行できたことについては、警備員やスタッフの皆様が一定程度機能していた結果であると考えている。一方で委員の皆様からご指摘いただいているように、一部のスタッフ、警備員については、今後改善が必要だと感じる点がいくつかあった。

まず、交通規制の内容を十分把握されていないと思われる方がいたことや、委員のご指摘にあったように、花火の打ち上げ中に、花火の方を見ていて本来の自身の任務に集中できていなかったという方がいた。また、今回堤防天端はチケットをお持ちの方のみの入場が可能ということだったが、チケットの確認をしっかりと選別されている方がいた一方で、しっかりと確認でいていない方も散見された。これについては、一部の方だと思うが、チケットを持っていな

いと堤防に上がれないことを把握できていないのか、実行委員会に確認されていたスタッフも見られた。その他露店対策について、実行委員会のスタッフがエリア内を自転車で巡回していたが、おそらく一般の方から見ると実行委員会の自転車ということがあまりわからず、規制区域内を自転車が走り回っているという声があったほか、自転車の乗り方、マナーの面についてどうかなという運転が見られた。そのほか、打ち上げ場所付近の保安区域内に、スタッフの方かはわからないが、一部の方が立ち入っていたということを聞いている。

会 長：説明を受けて委員の方々からご意見はあるか。

委 員：携帯電話会社から当日の電波利用状況の提供を受けてとあるが、これは KDDI、au のデータであって、他のキャリアでのデータではないという認識でいいか。

事務局：その認識でよい。

委 員：何のために必要だったのかというのがわかりにくい。年齢層を調べるのであれば、年齢層を知るための一部のデータとなる。これは KDDI を使っている人の利用状況である。どこでどれだけ利用時間が増えたというだけのものなら、わからなくもないが。そのような認識でいいか。

事務局：質問事項としては、何時くらいから広小路が混みだしたのかということなので、年代までを分ける必要はなかったと思うが、事務局で便宜上参考までに資料として掲載している。

委 員：アンケートやデータは参考にするのはいいと思うが、根拠にするのは難しいと思う。込み合い方の参考という認識で理解した。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：確認事項④-2 の露店の営業時間が 19 時 40 分について、この時に御霊公園にいたが、真っ暗になり危ないと思った。19 時 40 分になれば露店の営業を終了するというアナウンスがないと、危険だと感じた。

会 長：他に委員の方からご質問やご意見はあるか。

委 員：警察の方も来られているので、参考までにお聞きしたいのだが、露店の数を縮小し、真ん中に集中させたことによって、出店者にとっては良い状況だったと思う。資料にもあるが、来場された方の中に買えない方もいた。楽しみに来ている人は並ぶことばかりに時間を取られ、並んだ結果買えなかった現状があるのならば、露店数を増やせばよかったのではないのかということを最初から意見として出していた。その回答として、警察署の方が増やさないでほしいという話をされたこととお聞きした。それをもとに増やすことが可能であるならば、どのように取り組んでいけば露店数を増やしていけるのかをお聞きしたい。

会 長：これについて、事務局はいかがか。

事務局：露店について、今の数が適正なのか、増やすべきなのかということも、今後の議題の一つになるかと思う。委員の方々のなかで露店の数について、次年度以

降で改善が必要であるのであれば、どのような形が望ましいのかを議論していただきたい。

会 長：露店については、後ほどの協議事項にあるため繋がってくると思う。他に説明事項について、現時点でご意見はあるか。

委 員：ない。

（５）福知山HANABI 2024事業報告書について

事務局：資料５に基づき「福知山HANABI 2024事業報告書について」説明

会 長：事務局から説明があった福知山HANABI 2024事業報告書について、ご質問やご意見はあるか。

委 員：ない。

（６）経済波及効果分析について

事務局：資料６に基づき「経済波及効果分析について」説明

会 長：先ほど説明のあった経済波及効果分析について、福知山市へ質問だが、経済波及効果の額が約 4800 万円あると見積もられ、福知山市は色々なイベントを行っていると思うが、マラソンなどの経済波及効果の額について、データはあるか。

事務局：事務局としては把握をしていないので、マラソン実行委員会に確認をし、マラソン大会の波及効果として分析を行い、数字を出しているような状況であれば、委員の皆様にも事務局を通して回答させていただく。

会 長：他の自治体のイベント等の経済波及効果を算出されていると思うが、これが典型的な数字であるのか、ほぼこれくらいの数字なのか、多いのか、少ないのかの情報はるか。

事務局：経済波及効果の額だけ見れば小さく見えるが、直接効果と１次波及効果と２次波及効果を合計した金額を直接効果の金額で除した数値が 1.3 倍～1.4 倍になることが一般的である。今回の効果倍率は約 1.4 倍となっており、一般的な経済波及効果の数字と遜色ない。市民の皆様が多く来場されていたということで、宿泊比率が今後増えていけば、経済波及効果も増えていく可能性があると思う。

会 長：他に委員の方からご質問等あるか。

委 員：ない。

４ 協議事項

（１）福知山HANABI 2024検証について

会 長：続いて、議論すべき項目を中心に議論を進めていきたいと思う。議論すべき項目として資料７に事務局からの事前のヒアリングによってまとめられている。

①花火大会の規模について、②市の関わり方について、③有料観覧席について、④露店について、⑤堤防天端のチケット所有者以外の立入りについての5つの項目を議論するにあたって安心安全な花火大会を開催するためには、どのような必要があるかということを前提に議論を進めていきたいと思う。まずは議論すべき項目を確定したい。事務局より説明のあった(1)～(6)や現地検証結果を受けて、議論すべき項目以外で議論したいことや追加したいことは現時点であるか。議論すべき項目を話し合っていくなかで、必要なことも出てくると思うので、一旦議論すべき項目の議論を進めていくということでよい。

委員：よい。

会長：①花火大会の規模について、何かご意見はあるか。本日欠席の委員からは観客に今回よりも長時間楽しんでもいただくため、費用面がクリアできるのであれば、1時間で3000発～4000発にしようかという意見があらかじめ寄せられたが、他の委員の方からはご意見はあるか。

委員：花火大会の規模について、花火の発数を増やすのか、観客を増やすのかといったことを整理しなければならないし、露店のことは別で協議が必要だと思う。規模については共通認識が必要だと思う。

会長：規模について、花火の打ち上げ数なのか、時間なのか、あるいは人の数なのかということだが、他の委員の方ご意見はあるか。

副会長：入場者も当然含まれると思うが、物理的に河川敷の有料観覧席を増やすことは可能であるのか。今回のように大体のエリアは決まっているのか、人が増えたらエリアも増やせるのかといったところがわからない。

事務局：河川敷はもう少し奥まで人を入れることが可能であり、今回はかなりゆつたりと座席を配置したと実行委員会から聞いているため、物理的に有料観覧席を増やすことは可能である。

会長：今年は音無瀬橋に人を入れることはなかったが、規模が大きくなって御霊公園などに入りきれなくなることで、音無瀬橋に人を入れていくのか。また、打ち上げの発数が増えれば、当然集まってくる人も増えると思うが、規模を縮小するということはないという認識でよいのか。

委員：よい。

委員：花火大会の規模について、花火の発数を考えることだと思った。今回20分間で安全に終わり成功したことで、次回はもう少したくさん見ることができるのかという思いの人が結構多いのではないかと思った。

委員：20分間を1時間にするとすれば、通行止めの時間が影響してくると思う。今回は20分間通行止めをして事故なく終わったが、仮に1時間となると色々なリスクが出てくると思う。警察からの意見をお伺いしたい。

会 長：前回事故があったときは、打ち上げ時間は1時間だったのか。

事務局：1時間半である。

会 長：事故が起きた時のように通行止めを1時間や1時間半にした場合、どのような影響があるのかについてご意見はあるか。

警 察：委員ご指摘のとおり、打ち上げ時間が長くなればなるほど通行止めの時間が長くなるほか、時間が長くなれば人数も増えてくる可能性がある。今回は20分間での雑踏状況ということであるが、20分が1時間となれば、3倍の時間雑踏がその場にとどまることとなる。今回の20分が余裕をもって対応できたということなのか、ぎりぎり事故が起きなかった20分だったのかはわからないが、時間が2倍、3倍になってくるとリスクが高くなることに間違いはない。いずれにせよ、警察の基本的な方針としては事故を起こさないということであり、規模の大小に関わらず、事故を起こさずに安全に開催できるかという点を重視している。

会 長：他に委員の方からご意見はあるか。

委 員：福知山の花火大会は20分で2000発だったが、8月16日の宮津市の花火大会は40分で3000発であった。1000発しか変わらないが、時間は20分から40分と長くなっており、違いがはっきりとは分からなかったが、感じたこととしてゆっくりまったり見ることができた。この場でいうのは不適切かもしれないが、宮津市のほうが良かったというような感覚であった。短い間に詰め込んだ花火を見たからであるのか、もしくは海辺沿いでゆっくりできたのかということもあるかもしれない。規模としては警察の方も話された通り、20分だったから今の体制を整えられたこともあると思うが、元々が1時間半ということでもっと規模の拡大を求めている声のほうが大きいと思う。花火大会自体が何のためにするのかといったことが重要で、もちろん安全面を確保することも重要であるが、安全のことだけ意識するのであれば、やらないという判断のほうがいい。市民や他の観光に関わる企業のためにやるのであれば、規模を拡大していくべきだと思う。以前の福知山の花火は北近畿の中でも有名であったが、無くなってしまい胸を張れるものが一つ減ったが、今回再開できたということで胸をもっと張れるようになったため、価値のある花火大会を作っていくべきだと思う。

会 長：他の委員の方からご意見はあるか。

委 員：段階的に規模を拡大するとあったが、どこまで拡大するのが良いのかという答えが無いと思う。宮津の花火は40分3000発ということで、福知山の花火はぎゅっと凝縮した感じの打ち上げ方であるので、それが良かったという声もあった。綾部の花火もゆっくりとしたものである。規模とも重なることだと思うが、もう少し発数を増やしてそこまで長時間はしないという判断があってもよいと思った。

会 長：他にご意見はあるか。欠席の委員もいるため、今日で全て決めるわけにはいかない。各委員の方々からご意見いただいたので、これを踏まえて花火大会の規模については、次回までに事務局が各委員に意見聴取をしていただくということと、花火を上げる花火師さんがテクニク的にできるのかといった技術的な問題もある。本日は警察の方からご意見いただいたが、時間が長くなればなるほど交通の問題など出てくると思う。花火大会の規模については次回以降に詳しい部分は持ち越しで、方向性としては拡大であるとし、規模や時間をどうするのかといったところに焦点が絞られていくということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に②市の関わり方について、①の規模が拡大されるということで進んでいくということになるが、そのような場合に市はどのように関わればよいのかという議論になる。これについて何か委員の方からご意見はあるか。本日欠席の委員からは、継続して後援はどうか。市が共催で費用を出すことは難しいのではないかという意見が出た。

委 員：市に関わることによってメリットとデメリットが出てくると思う。市がこのまま後援という形であればどうなるのかということで、今回の花火大会においては、地元企業の有志での開催で合っているか。

事務局：福知山 HANABI 実行委員会が組織され、資料 5 に記載がある通り、福知山 HANABI 実行委員会が主催され、構成員として福知山観光協会、福知山広小路商店街振興組合、新町商店街事業協同組合、福知山駅正面通商店街振興組合が入っている。主管は一般社団法人 DOKKOISE である。

委 員：費用は構成員から集めて開催したという認識でよいか。

事務局：構成員からお金の出資はなく、チケット収入と寄付金で賄われていると聞いている。

委 員：広告協賛も一部含まれているか。

事務局：スポンサーとして寄付をされた方々の会社のロゴを配置されていた。

委 員：今後、規模を拡大するにあたって、一般企業のスポンサーとしての費用やチケット販売だけでは難しくなる可能性があると思う。そうなれば、市自体が花火大会をまちづくりの一環として、補助金などの予算を付ければ、安定して開催することができる。更に様々な所に費用を使えて、より安心安全にできると思う。若者たちが多く参加をしていたが、付き合いで参加している方が多く見られた。家族と一緒に花火大会に行きたくても今回は協力体制ができていない状況だったため、家族との時間を一旦犠牲にし、花火大会の実行委員会として参加された方が多数いた。福知山市民にとって良い花火大会にしていけるためには、福知山市としても後援だけでなく、共催を検討していくべきだと思う。

会 長：他の委員の方はいかがか。福知山市が後援を続けていくのか、より積極的に補

助金や共催とするのか、主催とまではいかないかもしれないが、あり方についてご意見はあるか。

委員：将来的には共催になるかもしれないが、すぐに共催ではなく、まだ後援で良いと思う。共催をするために市の予算を付けるならば、今の時期には来年度予算を組んでいると思うので、来年の花火大会の予算を付けるのは難しいと思う。もう少し後援とし、様子を見ながら市が共催するという考えになるなら、共催にしたらいいと思う。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。

委員：私も同意見である。まだ検証中のため、いきなり共催は難しいと思う。検証をし、実績を上げたうえで、市の考えや実行委員会の考えを踏まえて、いずれは共催になるというのが望ましいと思う。

会長：市の関わり方について、来年度は後援という形にし、規模が大きくなることや若者の参加の対策があれば、共催に踏み込むことになるかもしれない。とりあえずは継続して後援という方向性でよいか。

委員：若者の意見としていえば、本来市は何のためにしてほしいのか、してほしくないのか。若者は何のためにしてほしいのか、してほしくないのかがあり、若者のほうが明確である。福知山市を盛り上げるために、福知山市役所がもっと大々的にしていくべきところ、やりにくい立場であるため、若者が負担を受けている。趣味でしているような人はおそらくいないため、市が動きにくいことや市が動いてくれないことでしている人が結構いると思う。大人たちは福知山市の花火大会を知っていて、自分たちの子どもたちに花火を見せてあげたいとか、福知山ってこんな町だよと知ってほしい思いがあるので、市のことを考えているのは若者に見えてしまう。本来市役所というのは市を良くしていくために存在している。事務局の動きはすごく協力的で入り込んでされていた点は感動した。しかし、体裁的なことでいえば、後援のほうが良いならそれでいいと思うが、それでいいのかなという思いはある。私は福知山青年会議所という独立した団体であるため、行政や様々な団体からどんな風に思われてもいいから発言をするが、この立場から言わせれば、福知山市がもっと前に出なければだめだと正直思う。そうでなければ、若者たちの支持が無くなってしまうと思うし、若者たちが声を上げた結果が花火大会の実行委員会だと思うので、気持ちを理解したうえで、福知山市はもう少し寄り添っていくべきだと思う。市長がどう答えるかはわからないし、体裁的に難しいのならば仕方ないと思う。もし、一步踏み込むことができるなら、踏み込むべきタイミングだと思う。予算のことは理解できるが、福知山市としての花火に対する付き合い方はもう少し前のめりにいくべきだと思う。

委員：私も実行委員会のメンバーも先ほどの意見と同じような思いだと思う。福知山

市は事情もあると思うので、実行委員会から共催をお願いすることをしていくべきだと思う。それを市がどう受け止めるかは別の問題である。

副会長：皆様の意見としては、後援の方向を決めずに、もっと積極的にやるべきとの意見もあったことを踏まえ、市で考えるべきというとりまとめをすべきだと思う。あり方を考える会や今回の花火大会の計画や実施における市のスタンスは受け身だと思っている。もっと市民のために積極的に考えて、花火大会に関わらなければいけないはずなのに、委員から言われて動いている印象がずっとある。今回の花火大会が開催されたことを踏まえて、福知山市としてどのように関わっていくかという覚悟を示してほしいと思う。

会長：他の委員の方からご意見はあるか。あり方を考える会の時にも後援にするのか共催にするのか、定義などもじっくり話したと思うが、とりまとめとしては、今日の段階では市の関わり方を市はどう考えているかという方向性でいき、そのうえで後援であるのか共催であるのか、主催であるのかということを市が決定していくという形で議論を進めていくがよいか。

委員：よい。

会長：次に③有料観覧席について、何かご意見はあるか。本日欠席の委員からは、観客が一律に見られているという面では、以前のように無料で良いと思うが、運営上は有料のほうが良いと思う。理由は、チケット代を運営費として捻出できる、観客の混雑を避けられる、観客がストレスなく花火を見られることが挙げられている。何か委員の方のご意見はあるか。

委員：有料観覧席は賛成である。ただ、内容は見返す必要があると思う。アンケートにも記載があるが、階段席の値段が高すぎるといった部分もあり、ここに座らせてこの金額かということは確かにあった。チケットを買う段階では席がどんなイメージかがわからないと思う。また、有料観覧席に駐車場を含むのであれば、アンケートにもある通り駐車場が高すぎる。宮津市は 2500 台の無料駐車場があり、福知山市は有料なのかとなり、そのお金が運営費なのか福知山市の利益なのかはわからないが、駐車場のことはアンケートに結構記載があった。有料観覧席と有料の駐車場を上手に組み合わせることにより、もっと購入が増えるのかなとも思う。混雑面からも有料観覧席は良かったと思うが、金額面や関わり方はもう少し考える必要があると思う。

委員：私も有料観覧席は賛成である。今回の有料観覧席は、割とゆったり目になっていて、その分が御霊公園の混雑に繋がっていると感じる。有料観覧席にもう少し人を入れることで混雑の緩和に繋がるのではと感じた。

委員：有料観覧席は私もいいと思う。ゴミの問題など様々な問題をクリアできたのではないと思う。ただ、有料にすると立ち見の方が増えるということと堤防沿線で以前はチケット無しで見られたではないかという問題も出てくると思う

ので、そのあたりはクリアしていかないといけない。堤防沿線の自治会と話を
して、無料チケットではないが、入場できるチケットを渡すことで解決する方
法もあると思う。有料にすることはかなりメリットがあったので良かったと思
う。それと、人を増やすということだが、どこを増やすのかということがある
と思うので、そのあたりは警備の関係のため、警察や消防、国土交通省と調整
しながら、検討していくべきだと思う。ただ、有料観覧席にどれだけ人が入れ
るのかという想定は教えていただいたほうが良いと思う。最大 5000 人までは
安全に入れますよということや倍くらいまではいけますよということがあれ
ば検討しやすいと思う。

会 長：他の委員の方からご意見はあるか。

委 員：私も有料観覧席に賛成であるが、堤防沿いの家の方が花火を見ていて、そこ
から見えるのだなと思った。お金を払っている人が不平等だと感じた。花火が終
わった後、ゴミがなく意識が高かったので、お金を払って見ていただくことは
ありだと感じた。

会 長：他に有料観覧席について、何かご意見はあるか。ほぼ、賛成であり、ポジティ
ブな意見が多かったので、総論としては、有料観覧席はこれからも設けていく。
規模の問題もあるので、各論の部分はこれから詰めていくという方向でよいか。
それと私から事務局に、花火大会で有料観覧席を作った他の自治体にどのよう
なメリットとデメリットがあったのかを調べてほしいという話をしたので、そ
のうち、皆様にも調査結果が行くと思う。次に④露店について、何かご意見は
あるか。

委 員：露店については、ドッコイセこども大会の時には周りに色々な露店が出ていて、
広小路通りの露店を無しにしている。ドッコイセこども大会で花火が打ち上が
らないにも関わらず、どこの店舗も並んで充実していた。しかし、今回の花火
大会の御霊公園内は異常すぎた。細長い列がどこに並んでいるのかわからな
い状態を作っていた。主観的な目線としては、営業している 15 店舗が儲かる
仕組みなのではないかと思った。アンケート結果に買えなかったという意見も
いっぱいあって、もっと店舗を増やして分散したほうがよいと思う。ただ、私
が聞いた話では、なんで増やさなかったのかという話には、警察とも話を
して、あまり店舗を増やさないようにという指示があったともお聞きしたので、聞き
間違いかもしれないが、今後はもっと対策をし、店舗数を増やしていくべきだ
と思った。あと、花火の打ち上げ期間中は電気を消されたが、アンケートに色々
書いてあるが、電気を付けておいても良かったのではないのかと思ったし、花
火中もずっと販売を続けても良かったのではないのかとも思った。御霊公園の
所も以前の花火大会では、御霊公園から広小路通りまで露店が並んでいた。今
回は IH か炭に絞ったと書いてあるが、徹底してできるようになってくれば、

露店の規模も拡大してよいのではないかと思います。ただ、このまま続けるのであれば、露店はなくてもよいのではという意見もあった。買える人と買えない人があったので、それであれば花火だけに集中するために露店を出さなくても良かったとも思う。今後、露店はどんどん増やしていき、テーマが「JOIN」、「繋がる」とあるので、繋がりを見せていただく花火大会を作るほうが良いと思う。露店について、今後増やしていき、もっと力を入れていけば良いと思う。

会 長：他の委員の方から露店に関してのご意見はあるか。

委 員：実行委員会も露店でかなり反省をしているようで、改善になると思う。今回の花火大会の露店について、様々な安全対策をしたうえでの今回の規模になったと思う。IH、炭、市内業者であれば露店を増やすことは問題ないと思うが、そのあたりの安全対策は継続していただくというのが必須条件だと思う。

会 長：他の委員の方からご意見はあるか。

委 員：御霊公園に行った際に露店が真ん中に集中していて、列が放射線状になっており、横切れない状態であった。なんで真ん中なのだろうと思った。いつもは周りに露店があったから、以前も列はできていたが、周りであれば渋滞することはなかった。今回真ん中に集めたことによって、渋滞を起こしたり、ベビーカーも通りにくくなったりと混雑していると感じた。また、花火が始まる 19 時 40 分に電気を消されると、並んでいた人は買えない、真っ暗になれば逆に危ないというのもあり、電気を消さなくても良いし、営業をしても良いと思った。広小路通りの既存のお店は営業していて、列ができていた。

会 長：他の委員の方からご意見はあるか。

委 員：おおむね同じ意見だが、露店を増やしたほうが混雑の緩和になると思う。人から聞いた話では、既存のお店も 19 時 40 分に営業を一旦やめてほしいといわれたそうで、一旦営業をやめて花火が終わった後、もう一回営業を再開されたと思っていたが、そのあたりがはっきりわからないが、そのようなことを聞いた。

会 長：露店について、総論としては数を増やしていく。ただ、各論の部分で条件や御霊公園にどのように配置するのか、市内の業者だけに限定するのか、事前の安全交渉をきっちり行うなど、そのような条件をこれから議論していくという方向性で進めていくということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に⑤堤防天端のチケット所有者以外の立ち入りについて、特に堤防天端に隣接している民家の方が見ていることに対して、不公平ではないのかという意見や制限をかけることはなかなかできないので、どうすればいいのかというご意見もあったが、これに関して何かご意見はあるか。

委 員：先ほども申し上げたが、堤防沿線の自治会と一度話をさせていただいて、どうするのが一番いいのかということを議論していただくことが良いと思う。個々に

行くことは難しいと思うので、地域としてどうなのか聞くべき。私の意見としては、自治会にチケットを配布して、そのチケットで入っていただくのがいいと思う。

会 長：他の委員の方からご意見やアイデアはあるか。

委 員：実際は花火が打ち上がる手前で人を堤防天端に上げることはできたと思う。ゲート1の堤防沿いでもいわれ、アンケートに書かれているが、なんで行き帰りのルールを決められなければいけないのかとある。ルールを縛りすぎかなと思う。例えば、花火が打ち上がる手前までは堤防に上がれないが、花火が打ち上がるタイミングでは、堤防に上がってもらってもいいように考えてもいいと思う。ルールを縛りすぎたとしたら、ファンも減っていくと思うので、ここに関しては緩くしてもいいのではないかなと思う。有料と有料でない所を分けているし、そこを通行止めにする必要もない。考えていたのは、広小路通りは花火の全容は見えないので、見るとしたら音無瀬橋の上からか、猪崎の方の道沿いで見るのが綺麗だと思うので、そこを有料にしまえばいいと思う。警備が相当大変になってくると思うが、御霊公園内から広小路の道路沿いは人が集まっていて花火が見えにくいこともあったので、堤防天端のほうに上げるというのを時間で規制することがいいと思う。有料観覧席の方を先に入れ、ある程度の時間になったら堤防に上がっていただくという方法もあると思う。

会 長：では、自治会の方、地元の方と話し合っていていただいて、無料のチケットを渡すなどのアプローチをしていただくという方向性にし、その後どのような反応になるのかという形の話でまとめていくことでよいか。当然、規模を拡大したら、音無瀬橋から猪崎までといった話にもなると思う。

委 員：堤防天端のチケットのようなことはせずに時間帯を絞り、堤防に人を上げたほうがよいと思う。先ほどのまとめ方だと困る。ここに関してのやり方はいくらでもある。例えば、自治会に無料チケットを配布するのであれば、他地方から来てもらおうという取り組みは失敗になる。地元優先的なことにするのであれば、それはそれでいいと思うが、なんでそんなに厳しくするのかと正直思う。花火のために帰省をされていて、すかすかになっている堤防があるならば、人を入れてあげればよいと思う。広小路通りから足立音衛門に行く道で人が溢れかえっていて、危ないのでそこにいた人たちを最終的には堤防に上げられたが、何の問題もなかった。時間を絞って堤防に人を上げて、また戻すといったことでもいいと思うので、色々なやり方があると思う。

会 長：チケット所有者というよりは、堤防天端を含めた使い方やあり方の一つとして考えていくという方向性で次回以降議論していくということによいか。

委 員：よい。

会 長：次に⑥を分けて考えるということなので、「広小路通りから堤防天端に向かう

交差点での雑踏状況について」を仮に⑥-1 としておくが、これに関してご意見やご感想はあるか。時間が経つにつれて、かなり交差点で人が混雑してきたという状況であった。先ほどの⑤堤防天端のチケット所有者以外の立入りについての話に関わってくると思うが、堤防に人を上げれば、混雑が緩和されるだろうとあった。ただ、今度は堤防天端にたくさんの人が来て、もし何かあった際に避難しなければならないのに人がいっぱいになるといったことも考えられる。総合的に考えなければならないことが出てくると思うので、⑥-1 の広小路通りから堤防天端に向かう交差点での雑踏状況について、クリアにしておいた方がよいということはあるか。

副会長：当日に思ったことだが、広小路通りの縁石は見てもいい場所だったのか。そこが分からなくて、見るのは河川敷だけだと思っていたので。見ても良い場所であったのなら、河川敷と同じように雑踏対策を考えなければいけないと思う。

会 長：事務局の方、広小路通りの交差点の場所は見ても良いポイントだったのか。

事務局：チケットを持っていない方に見ていただくエリアという形で運用されていた。

会 長：大津市の花火は見える所には黒い幕を張ったことがニュースにもなったが、やろうと思えばやれるということもある。そのような方向も踏まえて、危ないのであれば、大津市のように黒い幕を張ればいいのかという議論になると思う。実際に警察が雑踏警備を行ったうえで、ご意見があればお聞かせいただきたい。

警 察：広小路通やキサイチヤ前の交差点については、雑踏が予想されるため、歩行者用道路の規制をかけたということである。よって、広小路通は無料観覧席という位置づけではなく、通行に特に規制のないエリアという位置づけである。つまり、たくさんの人が集まるため、観客と車が交錯しては危ないので歩行者道路にしたということで、ここから見てくださいと推奨してはいない。キサイチヤ前交差点については消防にも関係することだが、平成 25 年の事故時に緊急車両、搬送車両が雑踏により負傷者を搬送するのに相当な時間を要したという記録がある。このような反省を踏まえて、事故が起きた時の搬送や救護の拠点として使うため、交差点をクリアにしたということである。なお、交差点の横断歩道部分については、堤防天端を上がっていくために、そこを通っていく必要があるので、空けて使えるようクリアにしておいたということである。

会 長：他に委員の方から交差点における雑踏について、警察の方からの説明を踏まえて、規模の拡大や有料観覧席、堤防天端のチケット所有者以外の立入りも含めたいうえで意見あるでしょうか。これは一度論点を整理したほうが良いのか。緊急車両や搬送の問題もあるので、それをクリアにしたうえで、雑踏状況について精査するといったことで話をまとめてもよろしいか。

委 員：よい。

会 長：次に⑥-2 とするが、「広小路通りでの観覧者と歩行者の整理について」、当然⑥

-1 や「御霊公園」とも関わってくると思うが、それも含めて何かご意見はあるか。例えば、広小路通りで観覧している人と歩行者がぶつかることや、以前であればそこに露店が出ていた話であった。露店を無くしたことで非常に流れが良かったという報告が出ているが、そのあたりのことも含め、広小路通りの観覧者をどうするのか、歩行者の整理をどうするのかについて、何か委員の方のお考えはあるか。

委員：非常に難しいところだと思う。私自身が以前の花火大会に行っていたときは、両サイドに露店があって、買う方は外側に並んでいて、真ん中は結構自由なスペースがあった。もちろん花火が上がっている最中は人の動きが減るので、地べたに座っている人もいた。ただ、真ん中はずっと歩ける状態だった。花火が終わった後の交通整理はあったが、花火が上がっている最中は自由度が高かった。それに対して、揉め事や喧嘩があった時代かもしれないが、特に大きな問題ではないと思う。歩行者の整理をするのであれば、片側一方通行のように真ん中で分けるというのも一つだし、今後露店を増やしていくのであれば、考えなくてはならないことはあると思う。別に広小路通りで観覧されてもいいと思うし、地べたに座っている方を見たときに、私からしたら何が悪いのかと思う。見栄えが悪いと思う方もいると思うので、解釈の違いかなと思ってしまう。観覧者と歩行者の整理について、そんなに意識しなくてもいいと思う。

会長：昔と違って、今は韓国のハロウィンの事故のようなことも考えられる。今回は良かったので、来年も大丈夫とは言えない時代なので、人が増えた場合に行政として対応するのか。私も座って見えても問題ないと思うが、何かあって逃げるときに、座っていたら一歩行動が遅れてしまうので、人が邪魔になり将棋倒しになる等あると思う。色々なことを考え、ようやく 11 年ぶりに成功したが、それを徐々に広げていったうえで、かなり細かい部分も最大限の注意や配慮をする。歩行者の整理や観覧者、有料観覧席に関係してくると思うが、そのあたりを検証したいという趣旨であると思う。

委員：それであれば、時間で区切れればよいと思う。もちろん時間を守るために取り締まることになるが、時間で区切り、今からの時間は歩行者ゾーンを縮小するため、見ていただいて結構だというアナウンスがあってもいいのかなと思う。ただ、だらだらと帰られれば歩行者の邪魔になり、渋滞になるので、早い段階で撤収できるような体制を考えれば大丈夫だと思う。

会長：他に委員のご意見はあるか。

委員：そもそもだが、花火が打ち上がっているときは、観覧者が花火を見られると思うので、歩行者の移動がそんなにあったのかなと思う。

会長：事務局の方、広小路通りでの観覧者と歩行者の整理について、花火の打ち上げ中はどのような状況だったか分かるか。

事務局：事務局も堤防天端にいたので、打ち上げのときに直接目にしていない。

委員：はっきりと分ける必要があったのかという疑問があるのと、花火が終わると一歩通行にするなり、大部分を変える方法にしてもいいと思う。

会長：では、広小路通りでの観覧者と歩行者の整理について、時間で分けることやなんらかの措置を取らなければだめだということを前提にし、事務局もこれから皆さんの方に説明や調整作業に入らと思うが、そのような方向で整理していくということでよいか。

委員：よい。

会長：では、項目ごとの意見交換はこれで今回は終了させていただき、全体としてご意見やご感想はあるか。

副会長：質問だが、今回配布されている入場者アンケートの扱いについて、これ以上まとめられるのか、参考にしてくださいということで終わりなのか。参加した人でないとわからない意見が結構あると思う。同じような内容だが、参加されて初めてわかる意見もあると思う。大きな項目ではないかもしれないが、細かいところで改善点を考えていくうえで参考になることがたくさん出ていると思うので、このまままとめないのはもったいない気がする。

事務局：自由記述で書いていただいているものをある程度、傾向と分析を事務局で整理するといった認識でよいか。

副会長：最終的にはこんな改善点があることや、どのようなまとめ方をするのかはこれから検討すると思うのだが、それを考える材料になると思う。何らかの整理はしたほうがいいと思う。

事務局：アンケートのまとめについては、委員の皆様にご意見をいただくなかで、事務局として相談と調整をしていきたいと思う。

会長：他に委員の方から全体を通して何かご意見やご感想はあるか。

委員：ない。

会長：委員の皆様、積極的な議論をいただきありがとうございました。事務局にお願いとして、本日の会議で現地検証結果が確定し、それを受けて今後の花火大会のあり方について項目ごとに議論を行いました。本日の会議の結果を踏まえて、検証結果報告書の（案）の作成をお願いしたい。次回の検証会議で議論すべき各項目について、委員の方々の意見を出し、それを踏まえて最終の報告書（案）を作成していくということにしたいと思うが、その方向で委員の皆様よいか。

委員：よい。

会長：では、次回の第5回検証会議で事務局より検証結果報告書（案）について、提出いただく。

（2）その他

5 その他

会 長：これまでの協議を踏まえて、委員の皆様からご意見あるか。

委 員：ない。

会 長：ご意見がなければ、協議を終了する。

【次回会議】第5回花火大会検証会議は令和6年11月19日（火）午後1時30分を予定。

6 閉会